

## 折に触れ 四字熟語

### NO. 294 『点滴穿石』 てんてき せんせき

< 意味 > わずかな力の積み重ねによって、非常に大きな事業を達成すること。一滴一滴の小さな水滴でも、長い年月の間には堅い石に穴をあけることができるということ。「点滴石をも穿つ」と訓読する。また、「水滴石穿（すいてきせきせん）」も類義語。

< 出典 > 『漢書』<sup>かんじょ</sup>枚乗伝<sup>ばいじょうでん</sup>

表 言 : ◎点滴穿石のたとえ ◎点滴穿石の教訓

語 釈 : 「点滴」はしたたり落ちるしずくの意。

一 言 : 何回目の放送かは忘れましたが、NHKの朝ドラ「虎に翼」を観ていると、「水滴穿石」の方ですがこの四字熟語が引用されていました。主人公たちが様々な困難と障害を乗り越えながら弁護士を目指して一步一步努力する姿を見ていて、この熟語がぴったりだと思いました。

参考文献 : 岩波書店「四字熟語辞典」